

「憲法守れ」国民の声を聞け

「子ども 戦場に送るな」 県庁前公園 安保反対座り込み



安保法案強行採決に反対して2日間の座り込みをし、「国民の声を聞け」と締めくくりのシュプレヒコールする市民ら＝県庁前公園で



メッセージボードを掲げる参加者＝C i C前

「憲法違反」 街頭で抗議

安全保障関連法案の参院特別委での可決を受け、県平和運動センター（山崎彰義議長）は17日、富山市のC i C前で抗議の街頭宣伝を行った。山崎議長は「強行採決は許さない。法案を通さないために全力で戦う」と力を入れた。民主党の岡崎信也県議、村石篤富山市議、東富山町議、運動推進本部長も「国民の意見を聞く」として憲法違反の法律だ、「審議は不十分」などと声を張り上げた。

安全保障関連法案の参院特別委員会での採決に反対し、市民らが17日、富山市の県庁前公園で抗議の座り込みをした。16日に続く抗議活動で、二日間合計百五十人（主催者発表）が参加した。この日は時折、強い雨が

降る中、仮設テント内で八十人（主催者発表）が午前十時から六時間にわたって座り込み、マイクを回して参加者が発言するリレートークで抗議の言葉を述べた。リレートークでは「子どもたちを戦場に送らせない。強行採決しようが運



「戦争する国にはさせないぞ」と訴える座り込みの参加者＝富山市新緑曲輪

「安保廃案」座り込み160人

安全保障関連法案の廃案を求める座り込みが、17日も富山市新緑曲輪の県庁前公園であった。県平和運動センターなどでつくる「戦争させない県民の会」主催の座り込みは、2日間で延べ約160人が参加した。砺波市の農業委員井原一さん（68）は2日連続で参加した。「民主主義の手続きを踏まずに政治を進めようとしている。もはや専制政治だ」と話した。

この日夕、参院の特別委員会が安保関連法案が可決されたことを受け、「9条の会」「県連絡会、県医療労働、県民主医療機関連合会」が「戦争する国づくり反対共同行動実行委員会」などが与党による強行採決に抗議する声明を発表した。



県内各団体も声明を出した。県平和運動センター、県医療労働組合連合会、県民主医療機関連合会、「9条の会」も抗議の声明を出した。県保健医療協会は県保健医療協議員に白票や反対票を投じるよう要請した。

21(月) 戦争反対射水デモ PM2:00 (小杉駅南口ドラッグストア跡地)

23(水) 東京集会 (反原発 反戦浄法) PM1:30 東京代々木公園 ← 県内15人参加

10月5日(月) 5役会議 幹事会南催 PM6:00 自治協会館
・富山よりバス乗員 高岡5:20 富山5:40 魚津6:40